

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年3月13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470202510		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい古江		
所在地	広島市西区古江東町1番26号 (電話) 082-507-6525		
自己評価作成日	平成23年2月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3470202510&SCD=320
------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年3月9日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者の趣味や特技を続けるため、地域の教室や公民館に出かける支援を、家族の協力を得ながら行っている。敬老会などでは演奏発表の場を設け、利用者が輝ける場面作りを行っている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>高齢者には、食事は生命を維持する上に大切なことであるが、入居者に食事を楽しんで頂くように献立を考え、味だけでなく見栄えにも配慮している。入居者の意向を把握し、家族と協力し実現しようと取り組んでいる。また、誕生日は、入居者には大事な日であるとの考えから、共同で祝うことはせず、誕生日には、ご本人の好物を用意し皆で祝うようにしている。敬老の日には、1年間の写真集を一人一人に送り、皆さんに喜んで頂いている。終末期の介護についても、本人の意向を確認し、医師・家族と協議し、看取りを行っている。開設以来、何人も看取りを行い、ホームでお通夜や葬儀を行うこともある。ケアプランについても、入居前から入居期間中も、アセスメントが的確に行われており、介護目標に対するモニタリングをプランの見直しに活用している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ホーム玄関に掲示しており、方針や目標を一人ひとり理解しており、日常的に話実践に取り組んでいる。	法人の理念は、ホームの玄関に掲示しており、職員は書面化された理念を常に携帯し、ミーティングの際に職員全員で確認している。また、理念の具体的な内容を明記した「基本方針」もある。事業所の当面の目標として、「入居者の笑顔が見られるように自然とのふれあいを大事にし外出の機会を増やす」を掲げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し、公民館行事や回覧板で地域との交流を図っている。町内会役員等もしている。	ホームとして町内会の役員をしたことで、地域の民生委員や町内会長と親しく話ができる関係ができ、いろいろな助言を得ている。民生委員の紹介で、近所の保育園との交流を現在検討している。町内会の行事の「とんど」や「町内清掃」は、入居者の体調を考慮しながら、なるべく参加するようにしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方からの相談（認知症の方への対応、施設への入居、介護）に努めている。民生委員せんや町内会長さんなど話す機会をもっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長、民生委員、家族、利用者、包括支援センター職員に参加して頂きホームの状況、取組みを報告している。地域の町内会行事の情報をもらい、利用者の参加へとつなげている。	運営推進会議は、地域の民生委員・町内会長・地域包括支援センター職員が参加して定期的に開催されている。開設当初よりは参加者が増えているが、ホームの状況の報告と行事等の紹介が主たる内容である。運営推進会議の議事録はホーム玄関に掲示され家族が閲覧できるようになっている。	今までは、運営推進会議が平日に開催されていた為、家族の参加がなかったが、今後は積極的に家族に呼びかけ運営推進会議に参加を得て、より活発な意見交換をして頂きたい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	集団実地指導の研修機会や事業所のケアサービス等について協力を得ている。	市が主催する研修会には、積極的に職員を参加させ勉強する機会を設けている。また、市の実地指導の際には、担当者と話し合いを行い、指導やアドバイスを引ってもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束排除宣言」掲げ拘束をしないケアを行っている。研修を通して具体的な理解をし取り組んでいる。</p>	<p>法人全体として、「身体拘束排除宣言」を掲げ、入居者の介護を行っている。年に2～3回、社内の全体研修会を行い「身体拘束・虐待」について指導をしている。</p> <p>また、管理者会議でも「身体拘束排除」の徹底を図っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>マニュアルの作成、研修への参加により全職員に徹底させている。「絶対しない。させない」を合言葉に取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修（社内、社外）に参加し学び、理解を深めている。弁護士、司法書士と連携し必要者は制度を利用している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約内容、重要事項説明書で説明し十分に読んで理解・納得の上で押印されている。疑問点に対してはいつでもお答えできることを伝えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見要望の窓口を設けている。又、玄関に意見箱を設置している。利用者、家族等の意見は会社全体で受け止め運営に反映させている。</p>	<p>ご家族からの要望は、主として管理者などに寄せられるが、苦情・要望の内容について記録がなされ、今後の対応策についても検討されており、文書できちんと整理されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年2回自己申告書の提出を行っている。管理者が得た意見や提案は、代表へ報告し業務へ反映させている。	年に2回実施される自己申告書には、職員に対してのアンケートが含まれていて、職員の率直な意見・要望を聞くようにしている。これまでに職員からの意見・要望で、トイレの改修事例や職員の夜勤負担の軽減のための夜勤職員の増員を行ったこともある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回自己申告書の機会を設けている。様々な意見・要望が申告される。状況を把握し環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	力量等を把握している。年間を通して研修プログラムを作り社内外、キャリアパス等の受講機会を確保している。資格取得のための援助、取得者には褒賞で努力を称えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括支援センター主催の研修に参加している。地域の同業者との交流を深め、サービスの質の向上につなげている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	相談から入居前の訪問で本人や家族又は、関係者より情報を得ている。入居後は積極的にコミュニケーションを図り本人安心を確保する為の関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	サービス利用前より電話や入居前訪問を通して家族の不安や困っている事、質問や要望を受けお答えしながら関係作りに努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	本人、家族の思いや意向をよく聞き担当ケアマネを相談し見極め対応している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	すべてにおいて利用者を主としている。職員はできないことへの支援を行い共に作業する中で、感謝の気持ちを伝えお互い助けながら生活している。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	面会時や行事への参加時家族の思いや意向を聞きながら、利用者を共に支えて行けるよう関係を築いている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	入居前や、入居時に本人、家族から馴染みの人や場所を必ず聞いている。理容院、美容院、かかりつけ医等同行し、支援に努めている。	本人や家族から、馴染みの人や場所を把握し、対応するようにしている。入居前の馴染みの美容院に職員と一緒にいたり、今までのかかりつけ医師の診察を受ける等の支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し食事や作業、レクリエーションの席やグループ分けを行いお互いが助け合える様声かけ見守り支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用終了後も何時でも相談できることを伝えている。お花見、敬老会等の行事にお誘いし関係を断ち切らない支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族からの聞き取りや日々の生活の中での会話や行動から希望、意向を汲み取り把握に努めている。困難な場合は本人第一としている。	本人の意向や要望については、本人や家族からの日常的な会話の中から把握し、個人ファイルの中に記載し職員全員で情報を共有している。公民館で行われている墨絵教室に参加したいという本人の要望を、職員と家族が協力し実現したこともある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前訪問や入居時の聞き取りでこれまでの暮らしの把握に努めている。入居後も機会があれば情報を得られるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとり日々の過ごし方、心身状態等現状を把握を全職員で努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族の意向必要関係者の意見を聞き4ヶ月ごとに介護計画を作成している。1ヶ月ごとにモニタリングを行っている。</p>	<p>入居前のアセスメントは看護師などが担当しているが、その後のアセスメントは職員全員で行い記録されている。介護計画は介護計画作成者が作成し、定期的なカンファレンスを行いケアプランを検討している。また、介護目標の個々の項目についてモニタリングがなされ、ケアプランの見直しにつなげている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子、経過を日誌に記録している。生活日誌での記録や、職員間での情報を共有し実践を行い介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>要望や必要に応じて、通院の送迎付添い介助、入院時の付添いなど支援をおこなっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の店への買い物、散歩、公民館行事に参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間に1度往診を受けている。必要時には受診し、検査、治療を受けている。入院必要時には本人、家族の希望を大切に、かかりつけ医と相談し適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>協力病院の医師は週に1回往診をし、入居者の状況を把握し、状況に応じて柔軟に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の生活の中での気持ちを看護師に伝え相談している。利用者が適切な受診がうけられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にホームでの生活状況を介護要約として渡している。入院中は職員が交代で訪問し病院関係者と連携を密にしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	日常会話の中で本人の意向を引き出し家族に伝え、家族の意向、職員、医師の意向を調整しつつ、全員で方針を共有している。	入居時に、終末期の介護について本人・家族・医師と話し合いを行い合意、要望があれば看取りの支援も行うようにしている。状況の変化に応じ本人の意志を確認し、話し合いを行いながら終末期の支援を行う。これまでにホームでの看取りの事例もあり、葬儀を執り行ったこともある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを作成している。また、初期手当等研修を行い実践につなげている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	全職員、利用者様参加にて、年2回避難訓練を実施している。	定期的に自主避難訓練を行っているが、今後は町内会や消防署と協力し、地域での災害時の協力要請を行い、地域との連携を深めるよう検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの生活スタイル、人としての尊厳、声掛けのトーン、言葉遣いに気を付け やさしい態度で接している。	プライバシーに配慮し、家族の要望により名前や写真を出さないようにしたり、居室の名前はフルネームで明記しないように配慮している。入居者と適切な距離を保ち節度ある対応や言葉使いをするように心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	毎日の生活の中で 自分の意思や思い、希望が表せる場面提供を行っている。 (散歩、外出、服選び、おやつ、飲み物など)		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日のほぼ決まった日程はあるが、一人ひとりの体調や精神面を考慮し、希望や体調に合った過ごし方が出来る様支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出時や日々の生活の中で お化粧品や服を選んだり出来る様支援している。希望の理容院、美容室に行ける様支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人ひとりの好みを大事に日々の献立を立てている。準備や片付けをその人にあつたADLで支援している。	好みやアレルギーについて、各人の情報を職員で共有している。本人が嫌いな食材の時には、柔軟に変更できるように配慮している。1週間に1回は刺身を提供し喜んで頂いている。食事を楽しんで頂けるように、味だけでなく、見栄えにも配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの状態に応じた食事量・栄養バランスを考え対応している。食事量不足の場合 医師と相談し高カロリー補助食品にて捕食している。</p> <p>水分量・食事摂取量は記録し、1日を通しての摂取量が確保出来る様支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後自ら出来る方には声掛けし、介助が必要な方には職員の介助し清潔保持している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを職員間で情報を共有し、定時トイレ誘導を行い、排泄の失敗やおむつ使用を減らすよう取り組んでいる。</p>	<p>入居者の排泄パターンを職員全員で共有しトイレ誘導を行っている。夜間でも、排泄パターンを参考にトイレ誘導を行いトイレで排泄できるようにしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>運動や水分摂取により自然排泄ができるよう取り組んでいる。困難な場合には医師の指示にて下剤を服用している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむよう支援している。</p> <p>原則として入浴時間、曜日を決めているが、出来る限りは本人の体調・希望に応じた入浴支援を行っている。</p>	<p>入浴を楽しめるように入浴剤を入れたり、ゆず湯など季節を楽しむ工夫をしている。</p> <p>時には、入居者同士で一緒に入浴したいとの要望をかなえるよう複数で入浴することもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>室温や寝具衣類の清潔の支援をし、安心し気持ちの良い睡眠が出来る様、又、いつでも休息出来る様準備している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬について理解している。医師や看護師との連携を図り、病状変化の確保に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>季節や年間を通し、旅行など様々な行事を計画している。一人ひとりの状態に合った行事に参加している。日々の生活の中では役割を持ち、張り合いを持った生活支援を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>体調や天候を考慮し、散歩に出かけている。日々の買い物にも出かけている。毎年本人や家族の希望を取り入れ、バス・新幹線・飛行機などを利用し旅行に出かけている。</p>	<p>1日に1回は散歩するようにしている。近所にあるお地藏さんにお参りを楽しみにしている入居者もいる。入居者の要望で、髪留めやおやつを買いに職員が同行することもある。食材の買い物にも一緒に行くようにしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>日常のスーパー等の買い物時、本人希望の買い物は自分でレジを通して頂く支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の希望時、電話利用できるよう支援している。 手紙や手紙の返事が出来る様支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	エアコンで室温調整を行っている。日中はカーテンを使用し、光の調整を行っている。テレビのつけっぱなしや無駄な電気はつけないようにしている。 利用者様で作成した季節の壁紙でリビングを飾ったりしている。	居心地の良い空間の為に、カーテンによる採光の調整を行っている。築山のあるお庭にはプランターを置き、季節の花を植えたり、ねぎを栽培したりして季節感を楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファを設置し、仲の良い同士が会話をされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には家庭で使っていた馴染みの物を持ってきて頂き 居心地の良い部屋づくりを心掛けている。	仏壇や位牌などご本人の大事な物を持ってきてもらい、今まで使い慣れた時計を持参し居心地の良い空間を作るようにしている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	民家改造型のため段差等はあるが、手すりをつけたり、段差解消を工夫し、利用者様が活動しやすいように工夫している。 また、自室やトイレ・お風呂を分かりやすく表記している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。		①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>①ほぼ毎日のように</p> <p>②数日に1回程度</p> <p>③たまに</p> <p>④ほとんどない</p>
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<p>①大いに増えている</p> <p>②少しずつ増えている</p> <p>③あまり増えていない</p> <p>④全くいない</p>
66	職員は、生き活きと働けている	<p>①ほぼ全ての職員が</p> <p>②職員の3分の2くらいが</p> <p>③職員の3分の1くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての利用者が</p> <p>②利用者の3分の2くらいが</p> <p>③利用者の3分の1くらいが</p> <p>④ほとんどいない</p>
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての家族等が</p> <p>②家族等の3分の2くらいが</p> <p>③家族等の3分の1くらいが</p> <p>④ほとんどできていない</p>